

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	企業戦略基礎（Corporate Strategy）		
ナンバリングコード	E30208	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 経営学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修: Bソリューションコース 選択: 地域マネジメントコース、会計ファイナンスコース、スポーツビジネスコース、こども・福祉コース コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E045201	クラス名	-
担当教員名	小久保 雄介、黄 賀		
履修上の注意、履修条件	専門分野の学習になりますので、基礎レベルの授業と比較すると難度は上昇します。 専門知識の習得をするつもりで授業に出席すること。目と耳の集中力を高め、情報を整理しながら受講のこと。考えると考え抜くは違うことを理解・実践すること。 演習の時間は周囲と相談しながら習ったことを理解できるように実践すること。		
教科書	授業内で資料を配付します。		
参考文献及び指定図書	嶋口 充輝（編集）、内田 和成（編集）、黒岩 健一郎（編集）『1からの戦略論』 碩学舎 三谷 宏治 『経営戦略全史』 ディスカヴァー・トゥエンティワン		
関連科目	経営学入門、経営学総論、企業戦略実習、マーケティング戦略演習		

○基本情報		
授業の目的	本授業の目的は企業が用いる経営戦略論の理解です。 理論的な部分を学習したのちに実社会での使用事例や最新の戦略論などについて学習していきます。 また、レポートでは戦略論を用いて企業の行動を分析していきます。	
授業の概要	本授業では、基本的な戦略論について学習し、実社会での活用の様子を個人ないしはチームで調べて発表を行ってもらいます。 毎回の授業では事後学習の振り返りパートと講義パート(実施しない回もあります。)で構成され、講義パート後に事後学習としての調べ物を行い、期日までにまとめてもらいます。次の週の冒頭では前週の振り返りや皆さんの質問に回答した後に事後学習の振り返りを行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	講義、ワークへ積極的に参加し、戦略論への興味関心を持つこと。		15点	
【知識・理解】	戦略論の各種手法についての基礎知識を理解する。	20点	15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	企業戦略についての分析や事前・事後課題、レポートなどでフレームワークに基づいた考えができること		10点	10点
【思考・判断・創造】	ケーススタディを通して実社会での動きを理論に落とし込むことができること。	10点	20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
授業評価は以下の割合で評価します。 授業への貢献度 15%(出席やコメントペーパー)＋授業内での発言など10% 期末試験 30% 提出物 ①事前・事後課題20% ②レポート25% 課題やレポートについては締め切り後にフィードバックを実施する。 各種評価の方法については授業内で基準を提示する。	

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	企業戦略基礎（Corporate Strategy） 小久保 雄介、黄 賀	授業コード	E045201
学修内容				
1. イントロダクション				
シラバスをもとに、本授業の目的・意義などを解説する。また、成績評価の方法などについても解説を行う				
予習	授業のシラバスを熟読する。			(約2.0h)
復習	第1回の授業を聞いた後にどのような期待を持ったかを説明する。			(約2.0h)
2. 経営戦略について				
経営戦略とは何かについて学習を行う。経営戦略の定義を中心に解説を行った後に戦略の基本要素と企業のレベル別戦略について解説を行う。				
予習	経営戦略とは何かを自分なりに調べる。			(約2.0h)
復習	自分の興味のある企業を取り上げ、どのような戦略をとっているか調べる。			(約2.0h)
3. ドメインについて				
企業のあるべき姿を現すドメインについて学習する、なぜドメインを定義するのか、どのようにドメインを策定するのか、再定義について学習する。ドメインについての簡単な講義を行った後にチームで様々な企業のドメインを探しながらドメイン定義の分類について考える。				
予習	ドメインとは何かを自分なりに考え、調べる。			(約2.0h)
復習	講義をもとにドメインの再定義の例を調べる。			(約2.0h)
4. 企業成長の戦略				
企業の成長というものを見た時にどのような方向性があるかの枠組みを考えていく。古典的な手法であるアンゾフの成長ベクトルについて学習を行う。				
予習	企業が成長する方法を考える。			(約2.0h)
復習	授業内で扱った成長ベクトルの事例を探し、説明をする。			(約2.0h)
5. 多角化戦略(1)				
多角化の分類について学習する。分類されたものがどのように成功かなどを学習する。その後、実際の多角化のケースを調べていく。また、業績などを調べることで理論と実際の比較を行う。				
予習	多角化という言葉について調べる。Webなどを用いて多角化を行っている企業を調べる。			(約2.0h)
復習	授業内で扱った多角化戦略とシナジーについて事例を調べる。			(約2.0h)
6. 多角化戦略(2)				
多角化戦略を行う上で用いられる資源分配ツールであるプロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)について学習する。プロダクトポートフォリオや資源分配について講義を行った後に、いくつかの事例を学ぶ。				
予習	プロダクトライフサイクルについて復習を行う。			(約2.0h)
復習	授業内で提示するテーマのプロダクトポートフォリオを考える			(約2.0h)
7. 競争戦略(1)				
企業が成長していく中で他者との競争が生じた際に必要な競争戦略について学習する。基本的な分析手法であるSWOT分析やポジショニングアプローチについて学習する。				
予習	特定の業界を挙げ、どのような競争が起こっているかを調べる。			(約2.0h)
復習	競争の戦略についての実事例と内容を調べる。			(約2.0h)
8. 競争戦略(2)				
前週の授業で競争について学習したが、7回では協調戦略について学習する。協調するための戦略を学習した後に、実際の企業の競争、協調戦略について事例を学ぶ。				
予習	競争をした方が良いのか、協調をした方が良いのか、どちらの方が有利かについて自分なりに調べ、意見を			(約2.0h)
復習	協調戦略を行っている企業を探し、どのようなものかを調べる。			(約2.0h)

○授業計画	科 目 名	企業戦略基礎（Corporate Strategy）	授業コード	E045201
	担当教員	小久保 雄介、黄 賀		
学修内容				
9. 資源ベースアプローチ(1)				
企業内部の要因分析として用いられる資源ベースアプローチについて学習する。				
予習	自分の中の「強み」は何かを考える。なぜ、それが強みと言えるのかを考える。			(約2.0h)
復習	特定の企業を挙げて授業で扱った経営資源にあたるものがどのようなものかを調べる。			(約2.0h)
10. 資源ベースアプローチ(2)				
資源ベースアプローチの問題点や能力ベースアプローチについて学習する。				
予習	仮に自分が起業するとしたらどのようなビジネスモデルを作るか考える。			(約2.0h)
復習	ValueChainについて復習する(授業内で指示します)。			(約2.0h)
11. 戦略論全体の概観				
ここまで個別の戦略について学習を行ってきたが、それらを用いてどのように戦略を作成するかについて学習を行う。				
予習	企業が実際にどのようにして戦略を作っているか調べてみる。			(約2.0h)
復習	予習内容が学習した内容とマッチしているかどうか評価する。創発戦略についての事例を調べる。			(約2.0h)
12. 企業の社会的責任と経営戦略				
近年では企業は単純に利益を追求するだけでなく社会との関わりが重視されています。企業の社会的責任(CSR)とは何かを解説した後に経営戦略と社会的責任の関連について学習を行う。				
予習	CSRという言葉について調べる。			(約2.0h)
復習	企業が行っているCSRについて事例を調べる。			(約2.0h)
13. グローバル戦略				
企業は成長を求めて世界の市場へ進出していきます。日本企業がどのような戦略を行っているかを確認した後に、グローバル化の戦略について学習していきます。				
予習	何のために企業は海外進出をしているかを考える。			(約2.0h)
復習	日本企業がどのようなグローバル戦略をとっているか事例を調べる。			(約2.0h)
14. イノベーション戦略				
企業の競争優位を確保する手段であるイノベーションについて学習を行う。				
予習	イノベーションが行われている商品・サービスについて調べる。			(約2.0h)
復習	潜在ニーズを掘り起こした商品について探し、どのような部分が潜在ニーズであったかを調べる。			(約2.0h)
15. 授業のまとめ、総合質疑、事例紹介				
14回までの授業のまとめと質疑応答を行う。復習の際には事例を絡めながら行う。				
予習	14回までの授業の不明点がないか復習を行う。			(約4.0h)
復習	試験に向けての勉強を行う。			
16. 定期試験				
試験により、学習内容の習得状況の確認する。				
予習	今までの学習の復習を行う。			
復習	定期試験について自己分析を行う。			